

# 1月にじいろだより

令和4年11月1日(火) 尚徳福祉会 井荻保育園

吹く風が少しずつ冷たくなり、秋から冬にバトンタッチをする時季になりました。子どもたちはより遊び込んでいます。友だちと並んでペンで絵を書いてみたり、園庭ではかごめかごめ、いろおに、こおりおになど、ルールがある遊びを友だち同士集まって行う姿に成長を感じる日々です。

### 〔今月のねらい〕

- ・身の回りの事を自分から進んでしようとし、 自分で出来る嬉しさを感じる。
- ・身近な秋の自然に触れたり遊びに取り入れた りして楽しむ。

## お知らせとお願い

• 11 月16日から12月16日 保育参観 • 面談がありますのでよろしくお願いい たします。

#### 同じ絵を書こう



上手に出来たね

協力してお片付け

# 自分で頑張ってるよ

10月に入り、子どもたちの中で身の回りの事は自分でやる意欲が高まっています。着替えの時は、服が裏返しになっていると表にするようにし、畳んでから入れるようにしています。子どもたちはほとんど担任へ手伝ってと言わず、「きれいに畳めたよ」と嬉しそうにしています。また、片付けも自分で出したものは自分で片づける習慣が身に付くよう、声掛けをしています。マルチパーツを友だち同士で協力して片づける姿が微笑ましいです。

# 

10月8日、にじ組にとって初めての運動会でした。子どもたちも日々、遊びの中でかけっこやジャンプ、ダンスの練習をした成果を本番に出せました。はじめは踊ることに躊躇している子や、巧技台からジャンプすることに慎重になっていた子も、本番は楽しそうに行う姿がありました。今でも園庭でかけっこをしたり、皆で集まって遊んだりする機会が増えました。保護者の方からの感想にも、"大きく成長を感じる事ができた""音楽がかかるとすぐに歌いだしたり踊りだしたりして、これまで何度もやったんだなと思って一生懸命やる姿にうるっとした"などとあり、改めて子どもたちの成長や頑張りが伝わった運動会だったと思います。

運動会など、目標に向かって取り組む事で、個々に達成したいことを見つけ、出来たことの喜びを積み重ねる事により、自己肯定感が育まれていきます。日々、関わる中で子どもたちの「出来たよ」「みて」と出来て嬉しい気持ちを日々受け止めながら関わっています。成功体験を重ねる事で、色々な事に挑戦する子どもに育ってほしいと思います。